【久慈道路 救急車退出路完成式　式次第】

・日　時：平成１８年３月３日(金) 13:30～14:00
・場　所：久慈市旭町(久慈道路 救急車退出路)

1．開　　会
2．主 催 者 挨 拶
3．祝　　辞
4．事 業 経 過 報 告
5．リ モ コ ン 引 渡 式
6．テ ー プ カ ッ ト
7．救 急 車 通 り 初 め
8．閉　　会



【久慈道路救急車緊急退出路検討会の構成メンバー】

会　長：岩手県立大学宮古短期大学部 宮井久男教授
副会長：久慈商工会議所 専務理事
委　員：三陸国道事務所長
委　員：三陸国道事務所 久慈維持出張所長
委　員：久慈地方振興局 土木部長
委　員：久慈警察署長
委　員：久慈地区広域行政事務組合消防本部 消防長
委　員：県立久慈病院 事務局長
委　員：久慈市 建設部長
委　員：種市町 地域整備課長
委　員：大野村 建設水道課長
事務局：三陸国道事務所 管理課、久慈市 土木課

救急車退出路整備の背景

県立久慈病院は久慈道路に隣接しているものの、最寄りのICから病院に至る経路には、**渋滞交差点や踏切等が存在し、迅速な救急搬送を阻害。**

南側（野田村・普代村）からの搬送については、平成20年度を目標に整備が進められている**（都）下長内旭町線の供用に伴い問題は解消される。**

北側（洋野町）からの搬送に対する問題は依然として残るため、障害区間を迂回する救急車退出路の整備が必要。

北側（洋野町）からの救急搬送に対応するため、救急車退出路は上り線側に設置する。

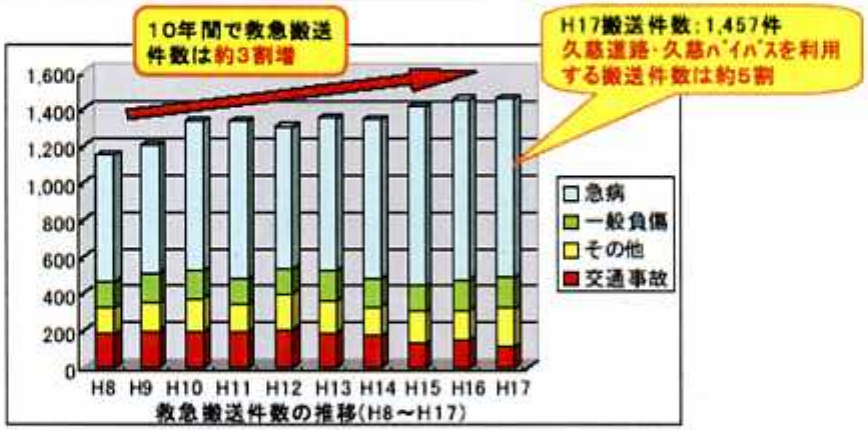


八戸久慈自動車道 久慈道路の救急車退出路の整備効果

～ 救急車退出路の整備により救命率が向上 ～

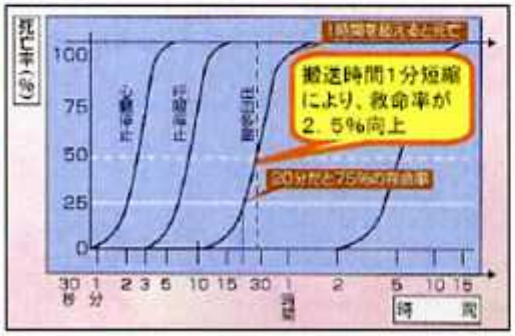
1. 救急搬送の現状

- 岩手県立久慈病院は、**県北唯一の第三次救急医療施設**
- 久慈地区広域行政組合管内における**救急搬送件数は10年間で約3割増**
  【H8】1,152件 ⇨ 【H17】1,457件
- 久慈道路関連を利用した救急搬送件数は、全体の約5割を占めており、**当該道路に依存した救急搬送体制**
- 県立久慈病院は久慈道路に隣接しているものの、最寄りのICから病院に至る経路には、**渋滞交差点や踏切等が存在し、迅速な救急搬送を阻害**

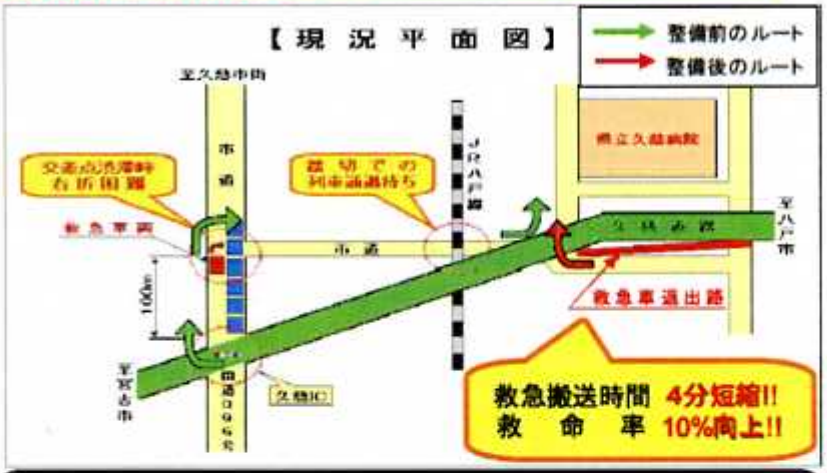


救急搬送件数の推移(H8～H17)


▲JR八戸線の踏切



▲治療を受けるまでの時間と死亡率
(カーラー曲線)



2. 救急車退出路の整備効果

- 搬送距離の短縮・障害箇所の迂回により、**救急搬送時間が約4分短縮**
- 迅速な救急搬送により、**救命率が10%向上**
  ※救命率は、カーラー曲線を用いて試算(出血多量を想定)
- 救命率の向上により、**交通死亡事故率が低減**

【関係機関との連携】

国、県、市町村、警察、消防、病院、有識者等により救急車退出路に関する検討会を実施

久慈道路救急車緊急退出路検討会
(第1回:H17. 1. 31)
整備の必要性・整備効果

久慈道路救急車緊急退出路検討会
(第2回:H17. 3. 2)
設置位置・道路構造・管理体制等



▲交通安全施策の概念図